第２号

日付　2018 年 8 月 1 日

発行者：斎藤　純

上智大学理工学部経営者の会　通信

■　インド通信　（２号）
□　東北通信　（　　号）
□　大阪通信　（　　号）
□　東京通信　（　　号）

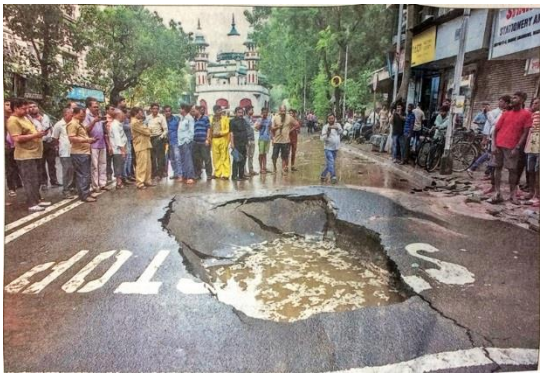
●近況

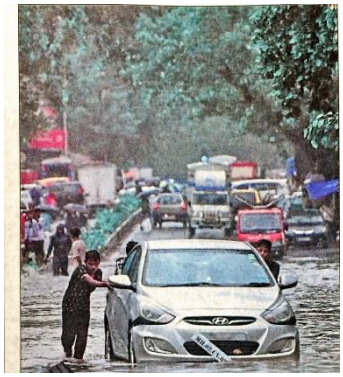
インド通信担当の斎藤です（81 物理卒）。日本に帰任して半年、インド赴任中に減少していた体重、それに体型が元に戻りつつある今日この頃です。インド子会社への出張は続けており、６月に訪印してまいりました。

西日本が記録的豪雨に見舞われ甚大な被害が出てしまいましたが、インドでも写真（Hindustan Times 紙より）の通りの豪雨となっており、遠方への出張を見合わせる事態となってしまいました。

At least six vehicles were crushed after a wall collapsed, leading to a cave-in at Wadala (East) after the downpour. KUNAL PATIL/HT

The railway track between Sion and Matunga is waterlogged after heavy rains. While the Central Railway cancelled 70 train services on Monday, Western Railway cancelled 30 services. KUNAL PATIL/HT PHOTO





●インド人の成り立ち（アーリア人とドラヴィダ人）

元々、インド亜大陸には、背が高くなく、丸顔で色黒、穏やかな農耕民族のドラヴィダ人と呼ばれる人々が暮らしていたそうです。そこへ、中央アジア周辺からアーリア人と呼ばれる白人系遊牧(狩猟)民族が侵入し、ドラヴィダ人を南へ南へと追いやって、新たなインドを作ったようです。もちろん混血も進んだのですが、未だに、北の方には背が高くて色白の人々が多く、南には中背で色黒の人々が多く住んでいます。ブッダが王子として生まれた「釈迦国」も、アーリア人に攻め滅ぼされてしまいました。インドというと犯罪のニュースを良く耳にしますが、北ほど危険度が高く、南へ行くほど安全と言われています。そして、アーリア系の人々が支配階級となってドラヴィダ系の人達を下層に置き、複雑な身分階級「カースト」を作ったそうです。なお、カーストの最上位「バラモン」とは僧侶のことで、王様や貴族よりも格上です。

また、アーリア人はヨーロッパにも侵入し、特にドイツ人はアーリアの血が濃いと言われています。ドイツ人とインド人は共通の DNA を持っているのかも知れません。そのためか、インドでもマイスターのような職人が育ち、タージマハルに代表される精巧な建造物を作り上げたようです。現代の産業界においても、あらゆる分野で地場企業が活躍し、規格や技術はヨーロッパ（主にドイツ、イギリス）から導入しているのがインドの特徴です。

タージマハルは、ムガル帝国の王が、亡くなった王妃のために作った大理石製のお墓で、江戸時代初期（1630 年ごろ）の建造です。

入場料はインド人 30 ルピー(約 50 円)に対し、外国人は 1500 円くらい取られます。近くの店でインド衣装をレンタルし、着替えてから入場することができます。女性が着るのは、もちろんサリーです。

●日本にやって来たインドの神様

インドには数千の神様がいると言われていますので、ごく一部をご紹介します。

インドでの名前	日本での名前	インドでの名前	日本での名前
ブラフマー（創造神）	梵天	サラスバーティ（ブラフマーの奥さん）	弁財天
シヴァ（破壊神）	大黒天	ガネーシャ（顔が象、商売の神様）	聖天
インドラ(雷神)	帝釈天	クーベラ	毘沙門天
ラクシュミー（美と富の神）	吉祥天	スカンダ	韋駄天
アスラ	阿修羅		

●stan（スタン）と bad（バード）と pur(プール)

アフガニスタン、ウズベキスタン、カザフスタン、トルクメニスタンなど、スタンが付く国が中央アジアからインドにかけて集まっていますが、スタンとは、場所とか国という意味だそうです。インドの別名は、ヒンドゥー教徒の場所（国）ということで、ヒンドスタン（Hindustan）です。

また、名前にバードがつく都市、イスラマバード、ハイデラバード、アーメダバードなどはイスラム教徒が作った町で、プールが付く都市、ジャイプール、カンプール、ジョードプールなどはヒンドゥー教徒が作った町と言われています。

●田舎暮らしと伝統

日本では大都市圏への人口集中が著しく、50%以上の人々が 3 大都市圏で暮らしていますが、インドは全く異なります。元々、標高 1000m 程度のデカン高原が広がる大地で、北方のヒマラヤ以外には高く険しい山地がありません。そのためか、大都市圏に住む人々の割合はわずか 7%程度で、90%以上の人々が田舎暮らしです。そして、田舎暮らしの人々は伝統を守り、旧来の生活スタイル（民族衣装を着て、毎食カレーを食べ、地元の小さな店で買い物をする）を続けています。 地方へ行っても、どこにでも集落があり、人々が牛と暮らし、畑、工場、お店が並んでいます。

実はこのことが、地場企業に有利にはたらき外資系企業を苦しめます。13 億以上の人々が暮らしていても、その 9 割以上が地元密着ですから、広い国土の各地に広がる販売網を持たないと売上が確保できません。そのため、きめ細かい販売網を持つ地場企業との合弁という形で進出を図る企業の割合が高くなっています。

なお、都市部の道路や橋下で暮らす最下層の人々は不可触民と呼ばれます。13 億の人口にも含まれていないとインド人から聞きました。約 2 億人いるといわれ、彼らを含めるとインドの人口はすでに中国を越えているのではないかと思われます。

●言語

インド中央政府が定めた公用語はヒンディー語で、準公用語が英語です。しかし、州政府が州ごとに定めている公用語が 18 種類あります。歴史的に各州は別々の国だったため、18 種類の公用語は「文字」自体が異なります。すなわち、ヒンディー語や英語を使えない人々にとって、州を越えるというのは外国に行くのと同じです。したがって、他州への出張や転勤、州を越えた移住などは、高等教育を受けた人だけができることです。次ページの写真はインドの 100 ルピー紙幣です。17 もの言語で、100 ルピーと書いてあります。

同じ理由で、TV 番組のチャンネルも 1,000 くらいあります。同じ番組を色々な言語に翻訳して流すからです。

●グローバルなインド人、でも日本がどこにあるのか知らない・・・・・

印商と呼ばれ世界各地で活躍してきたインド人ですが、スピーカーのボーズ博士、ビートルズにインド音楽を教えたラビ・シャンカール、彼の娘でジャズ歌手のノラ・ジョーンズ、マイクロソフト、グーグル、ドイツ銀行等のトップ、GM の CFO など、錚々たる人材を輩出しています。実際、インドの上流階級で育った人物の人品/教養は素晴らしく、13 億もいると、中にはこんな人もいるのかと驚かされます。英国ロックバンド「Queen」の故フレディ・マーキュリーもアフリカ生まれのムンバイ育ちでした。人類誕生の地、アフリカを訪れるインド人は多いです。またドバイ、アブダビがあるアラブ首長国連邦では人口の半分がインド人だそうで、国外でビジネスするのが当たり前になっています。

一方、小職は会社への入社希望者数十名との採用面接において、その都度、日本はどこにある国かと質問し続けましたが、ムンバイ大学卒でエリートのはずなのに、正解者ゼロでした。ネパールの隣とか、アメリカの近くとか、とんちんかんな答えばかり。インド人にとって日本は、あまり馴染みのない国のようで、小職も町で日本人か？と聞かれたのは 2 回だけ、中国人、韓国人、ネパール人などと間違われていました。どうやら、日本のことはアニメ、すし、忍者くらいしか知らないようです。インドで乗用車トップシェアのスズキ自動車のことも、インド企業だと思っています。確かにスズキ自動車さんは経営も設計もインド人に任せていますから、もはやインド企業です。

●人口ボーナスと経済成長、世界最大の民主主義国家

国民の平均年齢が 25 歳という若い国で、今後も人口が増え続け、年率 7%程度の経済成長も続くと見られています。つまり、10 年で経済規模が 2 倍になる計算です。インドは 29 の州から成り立っていますが、1 つの州がアセアン諸国の一国に相当する人口と経済規模を持つようになると言われています。そして間違いなく、現時点ですでに、インドの選挙は世界最大規模です。インドでは平日に投票を行いますので、皆、選挙に行くため会社を休みます。週末は、あくまでもホリデーとして使うのが彼らの流儀のようです。

下は要人や有名人が宿泊するムンバイのタージマハルホテルで、宿泊した各国首脳や、ジョンレノン・小野洋子夫妻らの写真が飾られています。その右はイギリス皇太子を迎えるため港に建造されたインド門です。

また、近くのウェールズ博物館には、インダス文明の出土品などとともに、安土桃山時代に宣教師たちが持ち出したと見られる日本の美術品も多数展示されています。 フランシスコ・ザビエル師も、故国に辿り着くことなく、経由地だったゴア（ムンバイの南 500km）で永い眠りにつかれています。

－以上、第 2 号－